

科 目 名		学年		
経営財務論Ⅱ : Financial Management Ⅱ		4B		
教 員 名		田川 晋也 : TAGAWA Shinya		
単位	授業時間	科目区分	授業形態	学修単位
1	100分×15回	必修	講義・後期	○
授 業 概 要	財務活動の意思決定は、資金の調達・運用・配分に大別される。本講義では、その意思決定のメカニズムについての基礎理論を解説する。後期は、資本構成と配当政策、証券投資論、財務分析について学ぶ。			
	到達目標		評価方法	配分
1. MM理論について理解できる。		中間試験	40%	
2. CAPMについて理解できる。		期末試験	40%	
3. 財務分析について理解できる。		自学自習によるレポート	20%	
学習・教育目標		(C)①	JABEE基準1(1)	(d)-(4)
授 業 計 画	回	項 目	内 容	
	第1	資金調達の方法	内部資金と外部資金、株式と社債	
	第2	資本構成①	レバレッジ効果、ビジネス・リスクと財務リスク	
	第3	資本構成②	モディリアニ・ミラー理論(MM理論)	
	第4	資本構成③	節税効果と倒産コスト(MMの修正)	
	第5	配当政策①	配当の中立性命題	
	第6	配当政策②	自己株式取得の財務効果	
	第7	証券投資論①	効率的市場仮説と裁定取引	
	第8	中間まとめ	中間まとめとして試験を実施する	
	第9	証券投資論②	ポートフォリオ理論、資本市場線	
	第10	証券投資論③	証券市場線、β値	
	第11	証券投資論④	アノマリーと行動ファイナンス	
	第12	財務分析①	収益性分析、安全性分析	
	第13	財務分析②	効率性分析、生産性分析	
	第14	財務分析③	成長性分析、総合評価	
第15	まとめ	全体の学習のまとめを行う。また、授業評価アンケートを行う。		
自学自習の内容		教科書の章末問題を課題とする。		
関連科目		会計学原理Ⅰ、経済学Ⅰ		
教科書		コーポレート・ファイナンス入門(砂川伸幸・日本経済新聞社)		
参考書		ゼミナール経営財務入門(井手正介・高橋文郎・日本経済新聞社)		
授業評価・理解度		最終回に授業評価アンケートを行う		
副担当教員				
備考		必要に応じてプリント教材を配布する		